

監修者 小原秀雄 (おばら ひでお)
1927年生まれ。女子栄養大学教授。国際自然保護連合(IUCN)種の保存委員会副委員長、88年グローバル500賞。『環境論を批判する——世紀末の人類と地球——』共著(朝日新聞社、1995年)ほか。

編・解説者略歴(アイウエオ順)

鬼頭秀一(きとう しゅういち)
1951年生まれ。東京大学大学院理学系研究科科学史・科学基礎論専門課程博士課程修得。現在、青森公立大学経営経済学部教授。著書『環境論を批判する——世紀末の人類と地球——』共著(朝日新聞社、1995年)ほか

戸田 清(とだ きよし)
1956年生まれ。大阪府立大学農学部卒業。一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了。現在、都留文科大学非常勤講師(環境論)。著書『環境の公正を求めて——環境破壊の構造とエリート主義』(新曜社、1994年)ほか

森岡正博(もりおか まさひろ)
1958年生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程取得。現在、国際日本文化研究センター助手。著書『生命観を問いなおす——エコロジーから脳死まで』(筑摩書房、1994年)ほか

リチャード・エバノフ
1956年、アメリカ・オハイオ州生まれ。シカゴ大学院人文哲学科修了。現在、青山学院大学国際政治経済学部助教授。著書『ECOSOPHY: BEYOND EAST AND WEST』(KYOTO JOURNAL:平安文化センター、1989年)ほか

環境思想の系譜 3 環境思想の多様な展開

1995年5月10日 初版第1刷発行

監修者 小原秀雄

発行者 古菅 昇

発行所 東海大学出版会

〒151 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4

電話 03-5478-0891(代) 振替 00100-5-46614

FAX 03-5478-0870

企画編集製作 株式会社 東京文庫

(〒101 東京都千代田区西神田1-4-13)

印刷・平河工業社/組版・(株)トライフル/製本・石津製本所

© 1995 S. Kitoh/K. Toda/M. Morioka/R. Evanoff ISBN4-486-01344-1

Ⓔ <日本複写権センター委託出版物>

本書の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。本書から複写複製する場合は、日本複写権センターへご連絡の上、許諾を得てください。
日本複写権センター(電話 03-3401-2382)

トム・レーガン『動物の権利の擁護論』

Tom Regan, "The Case for Animal Rights", Chapt.9, in *Implications of the Rights View*, pp.330-334, 347-351, 359-363, 392-398.

©1983 by Regents of University of California

アルド・レオポルド『自然保護—全体として保護するのか、それとも部分的に保護するのか』

Aldo Leopold, "Conservation: In Whole or in part? 1944", in *The River of the Mother of God: and Other Essays by Aldo Leopold*, eds. by Susan L. Flader and J.B. Callicott, pp.310-319.

©1991 by Aldo Leopold Shack Foundation

J・B・キャリコット『動物解放論争—三極対立構造』

J.B. Callicott, "Animal Liberation: A Triangular Affair", in *Ethics and the Environment*, eds. by Donald Scherer and Thomas Attig, pp.54-67, 72.

©1983 by Prentice-Hall, Inc.

ラマチャンドラ・グーハ『ラディカルなアメリカの環境主義と原生自然の保存—第三世界からの批判』

Ramachandra Guha, "Radical American Environmentalism and Wilderness Preservation: A Third World Critique" in *Environmental Ethics*, Vol.11(1989), pp.73-81.

©1989 by Ramachandra Guha

ポール・W・テイラー『生命中心主義的な自然観』

Paul W. Taylor, "The Biocentric Outlook On Nature" in *Respect For Nature*, pp.99-100, 156-158.

©1986 by Princeton University Press

マイケル・W・フォックス『なぜ動物の権利が必要か』

Michael W. Fox, "Why Rights for Animals?" in *Animals Have Rights, Too*, Chapter1(pp.15-22). "People and Animals—Ethical Concerns: A Personal View" in *Animals Have Rights, Too*, Chapter11(pp.129-131).

©1991 by Michael W. Fox

アルネ・ネス『手段は質素に、目標は豊かに』

Arne Naess, "Simple in Means, Rich in Ends", in *Environmental Philosophy*, pp.182-192.

©1982 by Prentice-Hall, Inc.

ビル・デヴァル/ジョージ・セッションズ『ディープ・エコロジー』

Bill Devall and George Sessions, *Deep Ecology: Living As if Nature Mattered*, pp.65-70.

©1985 by Gibbs M. Smith, Inc.

ワーウィック・フォックス『トランスパーソナル・エコロジーに向けて』
Warwick Fox, *Toward a Transpersonal Ecology: Developing New Foundations for Environmentalism*. pp.249-258.
©1990 by Shambhala Publications, Inc.

ジュディス・プラント『新たな世界へ向けて：序説』
Judith Plant, "Toward a New World: An Introduction", in *Healing the Wounds*, pp.1-4.
©1989 by Judith Plant

イネストラ・キング『傷を癒すーフェミニズム、エコロジー、そして自然と文化の二元論』
Ynestra King, "Healing the Wounds: Feminism, Ecology, and The Nature/Culture Dualism", pp.106-121.
©1990 by Sierra Club

アリエル・サレー『ディープ・エコロジーより深いものーエコフェミニズムからの問題提起』
Ariel Salleh, "Deeper than Deep Ecology: The Eco-Feminist Connection", Winter 1984, in *Environmental Ethics Vol.6*, pp.339-345.
©1984 by Ariel Salleh

エドワード・アビー『ビッグ・ウッズからの影』
Edward Abbey, "Shadows from the Big Woods" in Peter C. List, *Radical Environmentalism: Philosophy and Tactics*. pp.150-152.
©1993 by Dutton, an imprint of New American Library

スターホーク『フェミニスト、地球に根ざす精神性とエコフェミニズム』
Starhawk, "Feminist, Earth-based Spirituality and Ecofeminism" in *Healing the Wounds*, ed. by Judith Plant, pp.174-184.
©1989 by Starhawk and Judith Plant

アラン・サイン・ダーニング『どのくらいで十分なのかー消費社会と地球の未来』
Alan Durning, How much is enough?: The Consumer society and the future of the earth, pp.136-150.
©1992 by Curtis Brown Ltd.

翻訳者 一覧

- 青木 玲 翻訳業、エルザ自然保護の会会員
担当は、第一部「動物の権利」
- 鈴木昭彦 外国人とともに生きる大田・市民ネットワーク
担当は、第一部「自然保護ー全体として保護するのか、それとも部分的に保護するのか」、第四部「フェミニスト、地球に根ざす精神性とエコフェミニズム」
- 鈴木美幸 翻訳業、キャッツ・ポー・アソシエイツ主宰
担当は、第二部「手段は質素に、目標は豊かに」「トランスパーソナル・エコロジーに向けて」、第四部「宗教・芸術と環境観 解説」「ビッグ・ウッズからの影」、第五部「どのくらいで十分なのかー消費社会と地球の未来」
- 関 曠野 著述業
担当は、第二部「ディープ・エコロジー」
- 千葉香代子 翻訳業
担当は、第一部「動物解放論争ー三極対立構造」
- 浜谷喜美子 翻訳業
担当は、第一部「ラディカルなアメリカの環境主義と原生自然の保存ー第三世界からの批判」
- 原子和恵 翻訳業、フリージャーナリスト
担当は、第一部「なぜ動物の権利が必要か」
- 松丸久美 翻訳業
担当は、第一部「生命中心主義的な自然観」、第三部「新たな世界へ向けて：序説」「傷を癒すーフェミニズム、エコロジー、そして自然と文化の二元論」「ディープ・エコロジーより深いものーエコフェミニズムからの問題提起」